

IT活用で学校施設利用の利便性UPへ

オンライン予約&スマートロックの実証実験スタート

市は、地域のスポーツクラブなどが学校施設を利用する学校施設開放事業において、オンライン予約システムとスマートロックを導入する実証実験を氷室小学校で株式会社アイ・エス・アイソフトウェアと連携して実施する。期間は令和7年7月16日～同年9月15日。

実証実験では、学校施設の利用予約をオンラインで行い、発行される二次元コードを使って校門のほか、体育館などの鍵を保管するボックスを開錠できる仕組みを導入。これにより、受付窓口に行くことなく24時間自宅などからも予約ができる他、学校職員との鍵の受け渡しにかかる時間がなくなることで利用者の利便性向上を図る。併せて、システムによる入退管理など学校の新たなセキュリティ対策を進める。また、本件では災害時の避難所開設や平常時の保護者来校など幅広い運用の可能性も確認する。

なお、本件は、市が抱える課題の解決と市の魅力を向上させるために設置している「公民連携プラットフォーム」を通じて同社から提案があり実現した。

★株式会社アイ・エス・アイソフトウェアは、企業などのDX推進や業務自動化などを実現するシステムの提案・開発・導入を手掛けている。本件では、同社が所有する施設予約サイトのシステムを使用し、学校施設利用の予約申請をオンラインで行うとともに、同サイトと連動している株式会社クマヒラ製のスマートロック機器の解錠ができるようになる仕組みの検証を行う。



▲[\(株\)アイ・エス・アイソフトウェア
ホームページ](#)



▲[\(株\)クマヒラのサービスサイト](#)

★施設予約サイトで団体登録を行った施設利用者(団体)に対し、利用者ごとに二次元コードを付与。同コードをスマートロック機器のカメラに読み込ませると、予約した日時に限りオートロック式の小学校正門扉や、学校敷地内に設置するキーボックス(体育館の鍵などを保管)を開錠できる。キーボックス内の鍵は予約した施設に応じて必要な鍵だけが取り出せる仕組みとなっており、鍵の貸し出し・返却記録の他、正門扉の開錠記録もシステムで管理できる。運用イメージは次ページ参照。

＜主な学校施設開放に係る運用イメージ＞

① 学校施設を
オンライン予約



② 予約した時間に学校の正門を
二次元コードで解錠



③ 予約した時間にキーボックスを
二次元コードで解錠



※予約した施設に関わる鍵だけを取り出すことができます！
(例: 体育館を予約した場合は体育館に係る鍵のみ取り出し可)

＜お問い合わせ＞

総合教育部新しい学校推進課

☎: 050-7105-8028 FAX: 072-851-1711

メールアドレス : new-gakkousuishin@city.hirakata.osaka.jp